【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【公開番号】特開2010-66263(P2010-66263A)
【公開日】平成22年3月25日(2010.3.25)
【年通号数】公開・登録公報2010-012
【出願番号】特願2009-207833(P2009-207833)
【国際特許分類】
*Ｇ０１Ｎ　1/04　(2006.01)*
*Ｂ０１Ｌ　7/00　(2006.01)*
*Ａ６２Ｄ　5/00　(2006.01)*
*Ｆ２５Ｄ　11/00　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　1/04　Ｊ
Ｂ０１Ｌ　7/00
Ａ６２Ｄ　5/00
Ｆ２５Ｄ　11/00　１０１Ｗ

【手続補正書】
【提出日】平成24年8月28日(2012.8.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カセットマガジン（２０）内に含まれた組織試料を冷却し、ハウジング（１４）と、冷却機と、該ハウジング（１４）内で該カセットマガジン（２０）を移送するための移送装置とを有する装置（１２）であって、
該ハウジング（１４）は、該ハウジング（１４）の上部領域に該カセットマガジン（２０）のための投入シュート（１６）及び該ハウジング（１４）の下部領域に該カセットマガジン（２０）のための排出シュート（１８）を含み、
該移送装置は、該カセットマガジン（２０）を該ハウジング（１４）内で上部から底部まで移送し、
該冷却機は、該ハウジング（１４）のベースプレート（２２）内に１以上の冷却要素を含み、
該装置（１２）の稼動時には、上部から底部への該カセットマガジン（２０）の移送により、該投入シュート（１６）と該排出シュート（１８）との間で生じる温度勾配が有効利用される、ことを特徴とする装置。
【請求項２】
前記移送装置は、スクリューロッドを含むことを特徴とする、請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記スクリューロッドの軸が垂直方向であることを特徴とする、請求項２に記載の装置。
【請求項４】
前記冷却機は、前記ハウジング（１４）内に、該ハウジング（１４）の１以上の側壁に設けた１以上のペルチェ冷却素子（３０）を含むことを特徴とする、請求項１～３のいずれか一に記載の装置。

【請求項５】
前記冷却機は、前記ハウジング（１４）の冷却フィン（２４）を含むことを特徴とする、請求項１～４のいずれか一に記載の装置。
【請求項６】
前記冷却機は、前記ハウジング（１４）の一部分とその他の部分と連絡する、前記ハウジング（１４）の空気チャンネル（２６）を含むことを特徴とする、請求項１～５のいずれか一に記載の装置。
【請求項７】
前記冷却機は、前記空気チャンネル（２６）内にファン（２８）を含むことを特徴とする、請求項６に記載の装置。
【請求項８】
前記冷却機は、前記空気チャンネル（２６）内に空気冷却器を含むことを特徴とする、請求項６又は７に記載の装置。
【請求項９】
前記ハウジング（１４）は、絶縁材（３２）を含むことを特徴とする、請求項１～８のいずれか一に記載の装置。
【請求項１０】
前記ハウジング（１４）内に、１以上の前記カセットマガジン（２０）のマガジンコードを読み取るためのデータ読み取りユニットを含むことを特徴とする、請求項１～９のいずれか一に記載の装置。
【請求項１１】
前記ハウジング（１４）内に、該ハウジング（１４）内の１以上の前記カセットマガジン内の試料温度を確認できる１以上の温度センサを備えることを特徴とする、請求項１～１０のいずれか一に記載の装置。
【請求項１２】
前記データ読み取りユニット及び／又は前記温度センサは、外部のデータ処理システムに結合されていることを特徴とする、請求項１０又は１１に記載の装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
【特許文献１】ＵＳ　６，２５１，６５９　Ｂ１
【特許文献２】ＵＳ　６，２２８，６３６　Ｂ１
【特許文献３】ＥＰ　１　４４７　４４１　Ａ１
【特許文献４】ＡＴ　００３　１１８　Ｕ１
【特許文献５】ＧＢ　１　０９４　４５５　Ａ
【特許文献６】ＷＯ　０２／０５９２５１　Ａ２
【特許文献７】ＤＥ　２００　０４　２０２　Ｕ１
【特許文献８】ＤＥ　１０３　０４　１７１　Ｂ４
【特許文献９】ＤＥ　１０１　５４　６６３　Ｂ４
【特許文献１０】ＤＥ　１０　２００４　０４３　９０９　Ａ１
【特許文献１１】ＤＥ　１０　２００５　０４４　２４２　Ａ１
【特許文献１２】ＵＳ　６，２７２，７６７　Ｂ１
【特許文献１３】ＵＳ　５，６３５，３９７　Ａ
【特許文献１４】ＵＳ　６，６７７，８５７　Ｂ２
【特許文献１５】ＷＯ　０３／００８１０３　Ａ１
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
この目的は、独立請求項１に記載の特徴により達成される。即ち、本発明の１視点において、カセットマガジン内に含まれた組織試料を冷却し、ハウジングと、冷却機と、該ハウジング内で該カセットマガジンを移送するための移送装置とを有する装置であって、該ハウジングは、該ハウジングの上部領域に該カセットマガジンのための投入シュート及び該ハウジングの下部領域に該カセットマガジンのための排出シュートを含み、該移送装置は、該カセットマガジンを該ハウジング内で上部から底部まで移送し、該冷却機は、該ハウジングのベースプレート内に１以上の冷却要素を含み、該装置の稼動時には、上部から底部への該カセットマガジンの移送により、該投入シュートと該排出シュートとの間で生じる温度勾配が有効利用される、ことを特徴とする装置が提供される。（基本形態１）
有利な実施形態は従属請求項に記載される。
前記移送装置は、スクリューロッドを含むことが好ましい。（形態２）
前記スクリューロッドの軸が垂直方向であることが好ましい。（形態３）
前記冷却機は、前記ハウジング内に、該ハウジングの１以上の側壁に設けた１以上のペルチェ冷却素子を含むことが好ましい。（形態４）
前記冷却機は、前記ハウジングの冷却フィンを含むことが好ましい。（形態５）
前記冷却機は、前記ハウジングの一部分とその他の部分と連絡する、前記ハウジングの空気チャンネルを含むことが好ましい。（形態６）
前記冷却機は、前記空気チャンネル内にファンを含むことが好ましい。（形態７）
前記冷却機は、前記空気チャンネル内に空気冷却器を含むことが好ましい。（形態８）
前記ハウジングは、絶縁材を含むことが好ましい。（形態９）
前記ハウジング内に、１以上の前記カセットマガジンのマガジンコードを読み取るためのデータ読み取りユニットを含むことが好ましい。（形態１０）
前記ハウジング内に、該ハウジング内の１以上の前記カセットマガジン内の試料温度を確認できる１以上の温度センサを備えることが好ましい。（形態１１）
前記データ読み取りユニット及び／又は前記温度センサは、外部のデータ処理システムに結合されていることが好ましい。（形態１２）
なお、特許請求の範囲に付記した図面参照符号は専ら理解を助けるためのものであり、図示の態様に限定することを意図するものではない。